

アラ かん 新生活

ふちんかん

いつの間にかアラかんと呼ばれる年代になったが、この年になって生活をガラリと変えることにした。この連載ではその変容を書き記してみたいと思う。

第11回 生活上の工夫

今回は工夫したことについて記してみる。

衣食住の「衣」

服装に頓着が無いので、あまり工夫についても出てこない。

洗濯後の分類が楽になるように、靴下を同じもの（または色を変えたもの）を大量に揃えたことくらいだろうか。

洗濯物を畳むことが苦手なので、シーズン中は畳まず洗濯→干し→使用と廻している。

衣食住の「食」

冷蔵庫が少し大きめな単身用なので、基本小さい。夏場は冷凍庫のキャパ不足に悩む。当然自動製氷なんて機能は無いので。朝に製氷皿に水を入れても夜に使用する分で無くなってしまう。ウチでは氷が貴重品なのである。そこで冷しゃぶなど夏のヘビーローテーションメニューも氷で冷やすことはせず、早めにとっておいて、水冷→空冷後に冷蔵庫で冷やすという手順となる。また淹れ立てのコーヒーを急に冷やしたいときは、今までは大量の氷にドバツと注いでいたのだが（コレが本来のうまさを引き出す作り方らしいが）、今は漏斗に氷を入れ、コップやボトルに少しずつ注ぐことで対応している。お茶や炭酸水など、あらかじめ冷やせるものは冷蔵庫で冷やしておいて使用している。まあこの夏はエアコンを入れっぱなしにしていたせいもあってか、なんとか製氷皿は1つですんだ。

さて、酒はほぼ毎日飲んでいるのだが、コストの兼ね合いでハイボールを飲むことが多い。原酒はトリスなどの安酒。4リットルボトル（ご神体と呼んでいる）を購入し、小瓶に分けて使用している。このときも先の漏斗が役立っている。





アラクン 新生活



衣食住の「住」

まずは台所まわりから。

食器類は最小限の数にしている。そのため使用したらすぐ洗うことになる。これは生活規律を保つ意味でも衛生面でも良いことだと思う。

シンクの排水口は、底に除菌錠剤カプセル、ゴミ受けにネットをつけ、アルミホイルをちぎって周囲に巻き、最後に菊割れ蓋をかぶせている。ゴミ出しの日、コーヒーのフィルターゴミを入れているビニールと一緒に捨てている。

生ゴミを入れるのは、この排水口と台所にある手製のゴミ箱だけになっている。

そのゴミ箱であるが、写真のように深めの段ボール箱に弱粘着テープを固定したり、取っ手を差し込むための切り込みを入れてある。これでゴミ袋を半固定している。取り外しも容易である。



調味料関係は、私の工夫というよりは100均グッズなのであるが、必要なものが必要な量だけ取り出せるようにしている。とくに左端の顆粒ボトルは仕切りによって顆粒が4gずつ出てくるようになっている。コレは便利。



メインの生活場所はPCを中心にしたコックピットである。周囲にTV、ゴミ箱やティッシュ類を配置し、ここに座っているだけでほとんどのことができるようにしている。WOOのZOOM集会もここから配信である。左手のカーテンはグリーンバックになっている。またこの位置はエアコン直下であり、部屋全体の温度はかなりマイルドに設定しているが、ここだけは十分な温度が維持できている。



以前に書いた[人感センサーライト](#)も便利である。暗くなると私の移動に応じて、ライトが自動で点灯し、タイマーで勝手に消える様は便利であり、未だに気分が高揚する。

次回は「夢の模型部屋」について書きますよ